



YELL

エール
第30号

那須教育事務所ふれあい学習課
〒324-0056 栃木県大田原市中央 1-9-9
Tel:0287(23)2177 FAX:0287(23)2193
Mail:nasu-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp
Vol.30 平成26年 6月

地域連携教員について②

庭の梅の実も色濃く熟してまいりました。先生方におかれましては、ますます御活躍のことと思います。

さて、5月13日に行われました第1回地域連携教員研修には、たくさんの先生方に御参加いただきありがとうございました。パネルディスカッションにおいても、本地区の先生方から熱心に御発言いただき、研修を深めることができました。

今号では、地域連携の捉え方について考えていきます。



パネルディスカッションの様子

1 地域の人材を生かす

○学校支援ボランティアによる活動

既に、各学校では学校支援ボランティアによる活動を多く取り入れていると思いますが、学習支援（読み聞かせ、家庭科の実習支援、合唱指導、各教科等への支援等）や環境支援（校舎内外の環境整備、防犯パトロール、HP作成等）が考えられます。

○企業や高等教育機関との連携

企業が行っている出前講座を利用したり、大学や高等学校との交流などを通してキャリア教育を進めたりすることができます。

2 地域の資源を生かす（YELL第25号参照）

○地域資源を活用した校外学習

地域の歴史や文化・自然・産業に目を向け、総合的な学習の時間や各教科等で、校外学習を展開することができます。また、中学校では職場体験学習が考えられます。

○社会教育施設の活用

図書館、博物館での調べ学習や青少年教育

施設での体験学習も可能です。また、公民館に足を運ぶことにより、地域の情報を活用することができ、より充実した地域との連携を図ることができます。

3 学校の力を生かす

○学校の教育力を生かした活動

家庭教育学級、PTA研修、親子での物づくりなどが考えられます。また、これらの活動を公民館事業と共催で行っている事例もあります。

○学校施設を生かした活動と交流

例えば、パソコン室を利用して、児童と地域住民が一緒になりクラブ活動を実施するというのはどうでしょう。公民館で実施している合唱講座を児童・生徒と合同で学習することも考えられます。

4 地域に参画する

地域と連携して清掃活動を展開したり、あいさつ運動に取り組んだりすることもできます。地域のお祭りに参加するというのも面白いかもしれません。

以上4つの視点で地域との連携について捉えてみました。これらはほんの一例に過ぎません。各校の学校教育目標や学校経営方針を踏まえ、学校課題との関連を図りながら、それらの目標を達成したり課題を解決したりする一つの方策として、地域連携の活動を取り入れていくことが重要です。既に、地域と連携して活動されていることはたくさんあると思います。「今ある地域との連携をまずは続ける、見直す。」という姿勢で、地域連携に取り組んでみてください。



とちぎ子どもの未来創造大学

今年度より、栃木県教育委員会事務局生涯学習課では、県内の高等教育機関、民間企業等と連携しながら、子どもたちに「本物」に触れる学習機会を提供する「とちぎ子どもの未来創造大学」を実施します。これは、子どもたちの学力向上の基礎づくりのために、学校における学習に加えて、学ぶ意欲を高め主体的に学習に取り組む態度を涵養するために実施するもので、様々な講座が準備されています。追って、各学校を通して児童・生徒に案内リーフレットが配布される予定ですので、詳細は、そちらを御覧ください。

那須地区ふれあい人権の集い

日時：平成26年6月19日（木）
場所：那須塩原市三島ホール
内容：第1部 作文発表
第2部 講演
「こころの声が言葉になるとき
院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なこと」
講師：昭和大学保健医療学部大学院
准教授 副島 賢和 氏

ぜひ、御参加ください。

